

資源化グループ ～第2回会議までのまとめ～

	視点	取組の方向性	具体的な取組案	備考
家庭系	資源回収の促進	● 民間拠点等の回収量を含めた「資源化量」の把握 ● 利便性の高い排出方法の整備	● 「燃やせるごみ」「雑がみ」から「集団資源回収」へ移行を促すための周知 ● 未利用者への制度の周知	
	分別・排出ルールの周知・徹底	● 周知方法や啓発内容の改善・工夫 ● 行政収集・処理コストの削減 ● リサイクルの見える化	● 若年層向けの啓発 ● 事業者との連携による周知	
	資源として回収可能な品目の多様な回収方法の整備	● 民間ルートを含めた回収拠点の充実 ● 高齢者の利用を手助けする仕組み ● 容器包装廃棄物等の民間主体のリサイクルシステムへの移行に向けた働きかけ	● 金属類の拠点回収の充実 ● びん・缶・ペットボトルの民間回収への働きかけ	
	市民が行う生ごみ堆肥化への取組支援	● 現在の取組や事業の継続		
事業系	事業ごみの分別・資源化の促進	● 更なる分別・資源化の取組の指導 ● 民間事業者の回収ルート・回収量の把握 ● 民間事業を含め生ごみ資源化への継続的な調査・検討	● 小規模事業者への分別指導 ● 優良事業者の表彰制度	